

「県は説明会開催を」 西濃の脱原発のクマ要請

脱原発の集会などに現れる緑鮮やかなクマのマスクット「ゼロノミクマ」が八日、池田



大垣市生活安全課の担当職員(左)に申し入れ書を手渡すゼロノミクマ(大垣市役所で)

町、神戸町、大垣市の各庁舎を訪れ、放射性物質拡散シミュレーションの住民説明会開催を県に要求するよう求めた。ゼロノミクマは同日から十日まで、さよなら原発・ぎんが受け入れており、原発の新規制基準が施行されるこの日に合わせて企画。大垣市役所では、市民ら五人が集まり、「一緒にあって原子力防災を考えていきたい」と、申し入れ書を生活安全課の担当職員に手渡した。申し入れ書は、県が昨年九月に敦賀原発の過酷事故を想定した放射性物質拡散シミュレーションで、県内九十八万人の避難を想定していることを踏まえ、「市民にきちんと説明されていない」などとして県に詳細な説明を求める内容になっている。二町議会は、六月定例会で敦賀原発1、2号機、美浜原発1、2号機の廃炉を求める意見書を、大垣市議会は三月定例会で、核燃料や原子炉などの規制に関する法整備、法改正を求める意見書を可決した。(榊原大騎)

人が集まり、「一緒にあって原子力防災を考えていきたい」と、申し入れ書を生活安全課の担当職員に手渡した。

原発新基準に異議訴え

市民団体がキャンペーン 岐阜市

原発の新規制基準が施行された8日、岐阜市神田町の名鉄岐阜駅前では、市民らでつくる団体「さよなら原発・ぎん」(石井伸弘代表)が、原則40年の原発運転期間を延長できる制度について異議を唱えるキャンペーンを行った。同団体の女性らが、全国をまわって原発ゼロを訴えるマスクット「ゼロノミクマ」ともに、チラシを配った。老朽原発の運転延長を認めるべきではない」と話した。



マスクットとともに「原発ゼロ」を訴える「さよなら原発・ぎん」の女性ら(岐阜市神田町名鉄岐阜駅前)

同団体は同日、揖斐郡池田町役場、安八郡神戸町役場、大垣市役所を訪れ、県が昨年9月に発表した放射性物質拡散シミュレーションの住民向け説明会を求める申し入れ書を提出した。(佐名妙予)

リ、ボードを掲げて「原発ゼロに協力を」と帰宅者らに呼び掛けた。石井代表は「新規制基準では、原則運転期間を40年に制限するとあるが、20年の延長を認める」との例外もある。

放射能拡散想定「説明会を」

住民団体、大垣など1市2町に要求

脱原発をめざす住民団体「さよなら原発・ぎふ」が8日、池田町と神戸町、大垣市に対し、県が出した「放射性物質拡散シミュレーション」について住民説明会を開くよう求める申し入れをした。シミュレーションは、県境から近い福井県の敦賀原発の事故を想定しているが、「避難計画を策定するにも、住民の理解がなければ実効性がない」と指摘している。

町は、6月に町議会が「敦賀原発、美浜原発の廃炉に向けた検討を一層進める」ことを求めた意見書を採用している。申し入れたメンバーの一人は「情報を自治体と住民が共有するため、まず基礎自治体から進めようということだ」と話していた。

原発稼働の新規制基準施行日に合わせた行動で、7月1日に県知事に対しての申し入れに続く活動。池田

2013.7.9

毎日新聞岐阜版

住民説明会開催 求め申し入れ書

大垣など反原発団体
反原発運動のマスク
ットキャラクター「ゼ
ロノミクマ」が8日、
池田、神戸町と大垣市
で住民説明会の早期開

催を求め、申し入れ書と「原発困りマス」と刻印した大垣特産の木ますを各自自治体の担当者らに手渡した。

申し入れをしたのは市民団体「さよなら原発・ぎふ」メンバー。放射性物質拡散シミュレーションの住民説明会の開催を要望。昨年9月に県が敦賀原発事故を想定して行った拡散シミュレーションに基づき、避難方法、避難先などを住民に早くきちんと説明してほしいとしている。

メンバーの近藤ゆり子さんは「市民が一緒に考えていくために、市が県と協力して説明会を開いてほしい」と訴えている。

2013.7.9 岐阜新聞

名古屋市長 再稼働の動き批判

河村たかし名古屋市長が8日の記者会見で、4電力会社が原発再稼働に向けた安全審査を申請したことに関し「日本の政治は間違っていた」と修正できない。国民をなめ射性物質が拡散する事態も念頭に「名古屋市の水道を守るのが、市長の決定的な仕事だ」とも強調。運転継続が認められた関西電力大飯原発が立地する福井県おおい町の時岡忍町長に、こうした考えを伝える意向も示した。

福井県内の原発事故により、木曾川上流など水道の水源地に放射性物質が拡散する事態も念頭に「名古屋市の水道を守るのが、市長の決定的な仕事だ」とも強調。運転継続が認められた関西電力大飯原発が立地する福井県おおい町の時岡忍町長に、こうした考えを伝える意向も示した。

2013.7.8 中日新聞夕刊

市民の水を守るため おおい町長に電話

名古屋市長が意向
名古屋市の河村たかし市長は八日の定例記

者会見で、関西電力が原発の新規制基準に基づき大飯原発（福井県おおい町）3、4号機の安全審査を申請したことに関連し「電力会社というより、経済産業省が過去の方針を転換できない。しゃーしゃーとやるのは大した度胸だ」と述べた。

大飯原発が事故を起こせば、名古屋市の水源が汚染される可能性があるとして「市民の水道の安全を守るのが市長の決定的な仕事。おおい町長に電話をかけて」と、今後の継続を認めないよう働き掛ける考えを示した。

【山盛均】